

平成 23 年 3 月 28 日

会員及び関係者のみなさまへ

NPO 法人 民間稲作研究所
理事長 稲葉光國

東北関東大震災に関する被害の概要とお願い

東北関東大震災に直撃された地域の皆さん、ご無事でしたでしょうか。ご家族を無くされた方もいらしたとのこと、こころからのお見舞いとお悔やみを申し上げます。また全国から頂いたご心配やご支援に心から感謝申し上げます。

各地からのご連絡を総合しますと、もっとも大きな被害を受けているのは福島県の浜通りの皆さんのようです。25名の会員が10年以上前から有機農業に取り組み、約220トンの有機米を生産してきました。福島第1原発から約35kmの相馬市から南は原発の町 富岡までの範囲になります。6号線が南北に走り、その東側は津波によって家も田んぼも全て失くしてしまいました。4名の方がそんな過酷な現実を突きつけられています。内お一人は奥さんが行方不明とのことで、本当にお気の毒です。残り21名の方々は地震による大きな被害はなかったものの、炉心溶融事故を起した原発から30km圏内に入っており、2～3名を残して家を後にし、ご親戚や会員の農家に身を寄せているとのことでした。

被災に会われた方々は、種まきの準備に入らなければならない時期なのに、作付けの予定も、生活の見通しも全く立たず途方に暮れています。

深刻な事態を迎えている今般の原発事故はレベル5という評価ですが、国際的にはチェルノブイリ原発事故（レベル7）とスリーマイル島原発事故（レベル5）の間に位置するレベル6という事態に至っているという評価です。当然30キロ圏内は放射能汚染が問題になり今年の農作物の作付けが出来ない地域になるのではないかと恐れます。10キロ圏内では数年間になる可能性もあるのではないかと心配です。その間、被災にあわれた農家は生活の術を失い途方に暮れることになります。また、有機米の提供を受けていた消費者もしばらくは有機米が手に入らないということになります。こうした事態は何としても避けなければなりません。

そこで提案ですが、会員の有機農家の方で被災にあわれた方々に代わって有機米を生産してくださる方を募っています。一人あたり10a程度で結構です。被災に会われた有機農家にその有機米を提供し消費者の皆さんに届けられる体制を整えたいと考えています。ぜひみなさまにご協力をお願いしたいのですが、生産調整を超えて作付けすると個別所得補償の15000円/10aが受けられなくなります。そうならないように農水省と交渉したいと思いますが、認められるかどうか解りません。このような現状ですが、支援したいというご希望の方は、別紙にてご回答頂ければ幸いです。

なお、福島原発の深刻な事態はしばらく続くものと思います。米軍は原発80キロ圏内を立ち入り禁止にしております。該当する地域にお住まいの方は外出を控え、外での作業には静電気の起きないつなぎの服を着て、マスクを付け帽子を被って作業するようにし、家に入るときは除染をして入るよう心がけてください。

また、どんなに防御しても吸入ゼロというわけにはいかないと思いますので、有機栽培の玄米又は5分づきのお米にポリフェノールの多い黒米又は黒大豆を1%程度入れ、味噌汁（熱処理を行っていない手作り味噌が好ましい）に海藻類（ヨードを多く含むので甲状腺癌の防止になる。特に6歳未満の方：NPO法人 チェルノブイリ医療支援ネットワーク情報）を入れて、毎日召し上がってください。お茶も無農薬以上のもの以外の緑茶は止め、添加物の少ない昆布茶などにしてください。発酵食品は毎日摂取するようにしましょう。これは、プルトニウム爆弾が投下された長崎で被爆された秋月辰一郎博士の食事対策が原爆病の発症を防止したという貴重な経験に基づくものです。

東北関東大震災及び福島原発被災地への支援表明書

0285-53-1133へファックスしてください。

今年度の作付けが出来ないと思われる有機認定農家及び圃場は以下のとおりです。なお10km圏内の農家、津波で完全に崩壊した農家が11戸、延べ面積で約12ha含まれ、放棄又は数年間耕作ができない可能性があります。

区分	作付面積	単収/10a	予想収穫量 kg	~10km 圏内	10~30k 圏内
有機認定圃場	4,354 a	420 kg	182,872	6人	19人
転換期間	734	450	33,021	2人	3人
特裁2つ星	760	480	36,413		3人
計	5,847a		252,306	被害農家数 26戸	

以上の窮状を見て 私は以下の支援を表明いたします。

氏名	印	電話 Fax	携帯 電話
住所	メールアドレス		
<p>1 私は生産調整を達成できなくなりますが、それでも支援します。</p> <p>2 私は生産調整を過剰達成しておりますのでその範囲で支援できます。</p> <p>3 私は生産調整に参加しておりませんので支援できます。</p> <p>4 農地・機械・家屋等を提供することができます。</p> <p>5 有機米等の提供はできませんが、 円の義捐金を提供します。</p>			

【1～3と答えた方には以下の問いにお答えください。】

- 作付けを増やせる面積。(1筆程度で) 支援のために作付けできる面積 () a
- 提供できるお米の区分と数量
①有機米、() kg ②転換期間中有機米 () kg ③特裁2つ星 () kg
- 希望する提供価格(玄米60kgの価格)
①有機米 () 円 ②転換期間中有機米 () 円 ③特裁2つ星 () 円
- 4と答えた方は以下に提供できる農地や機械・家屋等の状況や条件などお知らせください。

【提供できる物件】

【提供の条件】

【被災者への励ましのお言葉をお願いします。】
